

合理的配慮って？ 2

河原 正明

播磨町総合相談・相談員（水・金曜日勤務）



誰もが暮らしやすい地域に
していくために、私たちにも
できる工夫と手助け「合理的
配慮」について、考えてみま
しょう。

『バスの中の出来事』

最近、車いすでバスに乗る
ことがよくあります。運転手
さんも慣れたもので、さつ
とスロープを出し、車いす席
の乗客に声をかけ、席を譲つ
てもらい乗車させてくれます。
本当にありがたいことです。

先日、バスに乗っていると
ある停留所で、一人の20代ぐ
らいの男性が乗ってこられ、
一番前の席に向かわれたので
すが、あいにく先客があり、
座ることができませんでした。
ほかの席は空いていたのです
が、彼は一番前の席から離れ
ず、佇んでいます。運転手さ
んも安全のため着席するよう
促されていましたが、彼はそ

こを離れません。見かねた先
客の方が席を譲られバスは出
発しました。

おそらく、彼は知的な障害
のある方だと思われませんが、
知的に障害のある方の中には、
自分の行動パターンを崩すと
状況がわからなくなり、パニ
ックになることがあります。
そのような特性を理解し、私
の車いすの乗車の時のように
席を譲ってくださる方が増え
たら、彼はもっと暮らしやす
くなるだろうと感じるひと時
でした。

▼問合せ

福祉グループ

☎079 (435) 2361

総合相談窓口

☎079 (430) 6000



合理的配慮に係る費用への助成

ヘルプマークを ご存じですか？

▼問合せ 福祉グループ

☎079 (435) 2361



ヘルプマークは、義足や人
工関節を使用している人、内
部障がいをお持ちの人、妊娠
初期の人など、外見からはわ
かりにくいが援助や配慮を必
要としている人が、援助を得
られやすくするためのマーク
です。

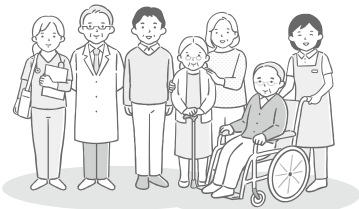
ヘルプマークを携帯してい
る人が困っていたら、積極的
に声をかけるなど、思いや
りのある行動をお願いします。
ヘルプマークは、福祉グル
ープで配布していますので、
必要な人は窓口で申し出て
ください。

配布は無料ですが1人1個
までとさせていただきます。

地域福祉計画の策定を始めます ①

播磨町では、令和6年度から5年間を計画期間とした「地域福祉計画」の策定を、6月から始めています。

▶問合せ 福祉グループ ☎079 (435) 2362



●地域福祉って？

高齢者や障がいのある
人の生活の困りごと、子
育てに対する不安、働ぎ
たいけど仕事が見つから
ないなど、日常生活にあ
るさまざまな問題に対し、
地域住民、事業所、社会
福祉関係団体や行政など
それぞれお互いが連携し
て助け合い、誰もが自分
らしく地域の一員として
安心して暮らすことがで
きる町づくりのための活
動のことで、これらの活
動の方向性を示したものが「地域福祉計画」になります。

●アンケート調査等を実施します

計画策定のため、町民の皆様
の現状や考えを把握するための
アンケート調査やワークショップ
を実施いたします。アン
ケート調査は8月下旬ごろを
目的に、無作為に抽出した1千600
人ほどの方にアンケート用紙
をお送りする予定です。用紙
が届いた方は調査へのご協
力をよろしくお願いいたします。
また、ワークショップにつ
いては、秋以降の実施を現
在検討中ですので、詳細が
決まり次第ホームページな
どお知らせいたします。

